

## 幸町集会所の廃止計画の白紙撤回を求める陳情

### <陳情の主旨>

地域住民のために、幸町集会所の廃止計画の白紙撤回を求めます。

### <陳情の理由>

平成27年5月に公共施設等の整備に関するマスタープランに基づく個別整備計画が発表され、区内73ヶ所の集会所・地域集会所を適正規模・適正配置の実現に向けた方針の下に、改築・改修・複合・廃止等に分類することが発表されました。

その中で幸町集会所も平成28～30年度中に廃止という方針が打ち出され、地域の利用者から戸惑いと廃止計画の白紙撤回を求める声が大きくなっています。

幸町集会所は昭和59年に建築された、1階に防災備蓄倉庫のある建造物で、地域の町会等の会議、婦人部や老人クラブの活動、また小さなお子さんたちを連れた育児中の保護者の皆さんの憩いの場として、長い間、幅広い層の区民の皆さんに利用されてきました。

また、平成23年には、トイレ改修やエアコン設備の入れ替えなどの内装改修工事が実施され、益々、地域住民の活動の場として活用が期待されているところです。

では、この幸町集会所は、何故、廃止されなくてはならないのでしょうか？

昭和59年の建築ですから築年数は32年。一般的な耐久年数は40年というのですから、少なくとも8年は廃止にする必要はありませんし、平成23年に大きな予算をつけて改修工事をしたことから、老朽化というポイントはあてはまりません。

500m圏内に一ヶ所ということも言われていますが、中丸児童遊園内集会所は、建坪率の問題で中丸いこいの家と統合されますし、その中丸いこいの家は、地域包括支援センターとしての機能も持つようになることから、幸町集会所を廃止することによって、利用者が一気に増加して、利便性が損なわれることは必至です。

また、板橋交通公園内集会所は改修の話があったものの、公園の改修と同時に行うと言う理由で未だに未改修で、今度は旧大山小学校跡地利用と合わせてということで、改修のメドは立っていません。さらに、仲町地域センターの利用を！という提示もその距離は700～1000mでありますし、交通量の多い川越街道を渡っての利用はとても推奨できるものではありません。

廃止後は、1階の防災備蓄倉庫の拡充が予定されているようです。隣の板橋二中に大規模改修工事の際、大きな防災備蓄倉庫を整備しました。また、板橋交通公園と旧大山小跡地に公園の拡充とともに、防災機能の拡充が予定されています。

将来にわたって安心・安全な公共施設を適正に配置するという板橋区の方針は理解できますが、使える施設を出来るだけ有効活用するという観点、そして、地域の自立した活動を支えていく観点からも、是非とも幸町集会所の廃止計画を撤回していただきますよう、陳情いたします。

提出年月日 平成28年 月 日

提出者 幸町町会 会長 高田 美種

副会長 高桑 勝

副会長 菊田 晃司

幸栄クラブ 会長 鈴木 勝利

福寿会 会長 植田 けい

幸寿会 会長 宮澤 菊雄